

「河川愛護月間」“推進標語”及び“絵手紙”の選定結果について

1. 作品の募集

- (1) 募集期間 平成22年6月～9月27日
(2) テーマ 推進標語：川の自然や川の美化など、日頃河川とかかわる中で感じた河川愛護の推進標語
絵手紙：川に対する思い出や思い、イメージを一枚のはがきに絵と文章を組み合わせた絵手紙
(3) 対象 全国の小学生・中学生・高校生・一般

2. 応募作品数 推進標語： 374作品
絵手紙：1,387作品

3. 審査

- (1) 予備審査
国土交通省河川局、“推進標語”及び“絵手紙”募集実行委員会等において選考審査を行い、優秀作品を選定。
(2) 本審査
有識者で構成する選定審査会において、最終審査を行い、推進標語10点、絵手紙120点の入賞作品を選定。

<審査員（敬称略・順不同）>

安齋 千鶴子（元 東京造形大学教授）
石橋 真理子（ライター）
小倉 紀雄（東京農工大学名誉教授）
四方 洋（元 サンデー毎日編集長）
水野 麻紀子（小学館DIME編集長）
大平 信弘（推進標語及び絵手紙募集実行委員会顧問）
佐藤 直良（国土交通省河川局長）

4. 入賞作品

推進標語

最優秀賞（国土交通大臣賞）	1作品
優秀賞（国土交通事務次官賞）	4作品
優良賞（河川局長賞）	5作品
計	10作品

絵手紙

最優秀賞（国土交通大臣賞）	1作品
優秀賞（国土交通事務次官賞）	6作品
優良賞（河川局長賞）	8作品
審査員特別賞	5作品
奨励賞	100作品
計	120作品

【入賞作品数】入賞作品及び入賞者については、別添参照

推進標語	最優秀賞	優秀賞	優良賞	計
小学生の部	1	1	1	3
中学生の部	—	1	1	2
高校生の部	—	—	1	1
一般の部	—	2	2	4
計	1	4	5	10

絵手紙	最優秀賞	優秀賞	優良賞	審査員 特別賞	奨励賞	計
小学生低学年の部 (1学年～3学年)	—	1	2	2	22	27
小学生高学年の部 (4学年～6学年)	—	2	2	1	35	40
中学生の部	1	2	2	2	33	40
高校生の部	—	—	1	—	3	4
一般の部	—	1	1	—	7	9
計	1	6	8	5	100	120

平成22年度「河川愛護月間」推進標語入賞作品

最優秀賞（国土交通大臣賞）

標語	標語の趣旨又は河川愛護への思い	氏名	性別	区分	都道府県	学校名
せせらぎに ぼくも魚も すきとおる	夏休み、立神峡に行つて、川遊びをした時、川の水が冷たくて、きれいできらきらしていたよ。魚がすきとおつて見えて、何だかぼくの心まで、すきとおつた気がしたよ。	松永 卓眞	男	小学生	熊本県	八代市立太田郷小学校6年

優秀賞（国土交通事務次官賞）

標語	標語の趣旨又は河川愛護への思い	氏名	性別	区分	都道府県	学校名
川そうじ 地球を守る アプローチ	私の住む地域では、霞ヶ浦清掃大作戦といつて、湖や池、川を地域の人たちでそうじをしています。川をきれいにすることは、地球をやさしく守っていることです。まず、ここから始めましょう。	大山 藍	女	小学生	茨城県	小美玉市立玉里北小学校5年
人がいて 生きものがいて 川という	人間の生活にとって川はかかせないものです。しかし、川は人間だけのものではありません。そこに生息するすべての生き物のものです。私たち人間はそれを忘れずに、自然との共存をはかなければなりません。	梶 幸永	男	中学生	千葉県	白子町立白子中学校3年
守ろうよ 未来へ続く 澄んだ川	昔から慣れ親しんできた川が汚れているのを見ると悲しくなります。いつまでもきれいな川であり続けられるように、みんなで守っていければと思います。	瀬尾 恵子	女	一般	栃木県	
水きらら おとなも子どもに かえる川	私の住む町では、毎年、夏休みの間、子ども達の川遊びを保護者が当番制で見守ります。監視役のはずなのに、きらめく水面に誘われて、思わず一緒に水遊び！子どもを育み、大人を癒す、美しい川に感謝です。	石田 真由美	女	一般	京都府	

優良賞（河川局長賞）

標語	標語の趣旨又は河川愛護への思い	氏名	性別	区分	都道府県	学校名
ぼくたちで 川の命を 未来まで	今、地球温暖化の影響などで、大変地球が危ない状況です。このまま温暖化が進むことを防ぎ、未来の子どもたちや未来の生命などに、今よりもきれいな川を残したいと考えました。	陶山 雄太	男	小学生	山形県	寒河江市立寒河江小学校6年
ちよろちょろちよろ 川から聞こえる こもりうた	川にいと「ちよろちよろ」と音が聞こえます。その音が大きくもないし、小さくなくて、まるでこもりうたをうたっているようで、とても落ち着きます。そんな場所を大切にしたいと思いました。	馬田 朝美	女	中学生	福岡県	うきは市立浮羽中学校2年
澄んだ川 未来も青い 川がいい	この標語には2つの意味を込めました。1つは澄みきつた川が未来にも続いてほしいことと、もう一つは人生の未来も澄みきつた川のように輝いて欲しいという意味です。	杉本 愛	女	高校生	鳥根県	鳥根県立益田翔陽高等学校2年
また遊ば 指切りげんまん 川とする	川はいつも飾らない素直な自分にさせてくれるし、時には知らない子とでも友だちになれる場所でもある。	中川 幸代	女	一般	奈良県	
日本には 川面に映る 四季がある	春には土手の桜の花びらが一面に浮かび、夏には水面がキラキラかがやいたり川面には、四季それぞれの顔があると思います。	水上 美智子	女	一般	神奈川県	